

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況(技術情報第9号)について(送付)

このことについて、早植え水稻及び普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況をまとめましたので、業務に御活用ください。

記

早植え水稻ではトビイロウンカの密度が高まっており、今後坪枯れが発生する恐れがあります。普通期水稻でもトビイロウンカの発生ほ場率が高く、注意が必要です。要防除水準に達している場合は、収穫前使用日数に留意し、直ちに防除を行ってください。

1 発生状況

(1) 早植え水稻(5~6月上旬までの移植)

9月2日に15地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は1161.4頭で過去4年平均(2012~14、2019年、以下平年とする)203.7頭及び昨年341.8頭に比べ多かった。発生ほ場率は100%で平年並(97.5%)であった。

(2) 普通期水稻(6月中~下旬移植)

9月2、3日に28地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は6.5頭で平年(過去10年平均、データ欠測の2011年を除く)10.4頭に比べやや少なかったが、発生ほ場率は平年よりやや高く、昨年並であった(96.4%、平年64.1%、昨年91.2%)。

2 防除対策について

- (1) 発生状況を確認し、要防除水準(収穫30日前:30頭/10株)を超える場合は、直ちに防除を行う。なお、トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、粉剤及び液剤は株元に付着するように散布する。
- (2) 坪枯れが発生し始めたら、可能な限り収穫を早め、坪枯れに伴う減収の拡大を防ぐ。収穫までに期間がある場合は直ちに防除する。
- (3) 防除に当たっては、薬剤の収穫前使用日数に注意する。
- (4) 天候不順により粉剤及び液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4~5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。
- (5) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況（10株当たり成幼虫数）

(1) 早植え水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡		
早 植 え 注2)	山鹿市鹿北1	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	8.0
	山鹿市鹿北2	3.0	2.0	0.0	4.0	6.0	7.0	3.0	25.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	1.0	0.0	0.0	3.0	1.0	0.0	5.0
	山鹿市菊鹿2	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	6.0
	山都町入佐1	32.0	18.0	0.0	4.0	650.0	3152.0	453.0	4309.0
	山都町入佐2	64.0	40.0	12.0	4.0	1592.0	7584.0	836.0	10132.0
	甲佐町寒野1	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	芦北町宮浦1	1.0	2.0	0.3	0.7	0.3	0.7	0.3	5.3
	芦北町宮浦2	2.0	3.3	0.3	0.3	0.7	0.3	0.0	7.0
	芦北町天月1	11.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	16.0
	芦北町天月2	41.0	50.0	7.0	25.0	71.0	34.0	0.0	228.0
	あさぎり町上1	71.0	69.0	5.0	7.0	59.0	11.0	9.0	231.0
	あさぎり町上2	129.0	128.0	0.0	3.0	82.0	17.0	8.0	367.0
	錦町一武1	27.0	27.0	4.0	1.0	1068.0	940.0	10.0	2077.0
	平均(15ほ場)	25.7	23.2	2.0	3.3	235.7	783.5	88.1	
成虫 計			54.1	幼虫 計		1107.3			
計(成虫・幼虫)	1161.4								
平年 注4)	203.7								
発生ほ場率	100.0%								
平年の発生ほ場率 注4)	97.5%								

注1) 1ほ場につき、早植え水稻は10株調査を行った。

注2) 早植え水稻は5～6月上旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

注4) 早植え水稻の平年値は4か年の平均(2012～14、2019)。

(2) 普通期水稻

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
熊本市画図1	0.3	0.0	0.0	0.0	6.0	3.7	3.0	13.0
熊本市画図2	1.0	0.0	0.7	0.3	2.3	0.3	0.3	5.0
熊本市川口町1	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
熊本市川口町2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7
熊本市富合町木原	0.3	1.0	0.0	0.3	0.3	2.0	0.7	4.7
熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
宇城市松橋町1	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3	0.0	2.3
宇城市松橋町2	0.7	0.7	1.3	1.7	2.0	4.0	4.3	14.7
玉名市両迫間1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.7	3.3
玉名市両迫間2	1.3	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3	3.7
玉名市横島1	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	1.7
玉名市横島2	1.0	0.7	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	2.7
山鹿市鹿央町1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.7
山鹿市鹿央町2	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.0	3.7
山鹿市鹿本1	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	2.0
山鹿市鹿本2	0.3	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	3.3
菊池市赤星1	2.7	4.0	0.0	1.3	0.3	0.7	0.0	9.0
菊池市赤星2	1.0	2.0	0.0	0.7	0.3	0.3	1.7	6.0
大津町陣内1	0.7	0.7	0.0	0.3	15.0	8.7	0.7	26.0
大津町陣内2	1.7	3.3	2.7	0.7	2.3	3.0	1.3	15.0
嘉島町上六嘉1	1.0	2.3	1.0	1.0	0.3	2.3	10.7	18.7
嘉島町上六嘉2	0.3	1.0	0.7	1.0	0.7	1.0	16.0	20.7
益城町福原1	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.0
益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八代市高田1	1.0	1.7	0.3	1.0	0.3	1.3	3.7	9.3
八代市高田2	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.3
氷川町網道1	1.0	3.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	2.6
氷川町網道2	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.6
平均(28ほ場)	0.7	1.1	0.3	0.3	1.2	1.1	1.8	
	成虫 計			2.4	幼虫 計		4.1	
計(成虫・幼虫)	6.5							
平年 ^{注4)}	10.4							
発生ほ場率	96.4%							
平年の発生ほ場率 ^{注4)}	64.1%							

注1) 1ほ場につき、普通期水稻は30株調査を行った。

注2) 普通期水稻は6月中下旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

注4) 普通期水稻の平年値は過去10年平均(データ欠測の2011年を除く)。